

協会の開催案内

マンスリーセミナー

389	10/20 (火)	ペロブスカイト光発電素子の特徴と応用	桐蔭横浜大学 大学院工学研究科 教授 宮坂 力 氏
(内容)有機無機ハイブリッド組成のペロブスカイトは演者らのグループによって 2006 年に初めて光電変換への応用が試みられ、現在では太陽電池用光吸収材料としてシリコンと競う 20% の高効率に達している。本講ではこのペロブスカイトの真性半導体としての特異な性質を示し、光発電素子から光エレクトロニクス素子(光ダイオード)までの応用について海外での研究動向とともに、われわれの研究成果として、光発電で 17% 以上の効率を得る方法、光ダイオードでは 2,000 倍以上の増幅効果を得る素子構造を紹介する。			
390	11/17 (火)	レーザ溶接・接合法の発展と 異材接合への応用展開	大阪大学 接合科学研究所 接合機構研究部門レーザ接合機構学分野 教授 片山 聖二 氏
(内容)レーザ溶接は、各種溶接・接合法の中で、高速・高生産で高品質・高性能・高機能な溶接・接合部の作製が可能であり、現在、自動車分野をはじめとして各種産業分野に広範囲に利用されており、最も発展・応用展開が期待されている接合法の一つである。このため、レーザ溶接結果とレーザ溶接現象との相関やレーザ溶接欠陥の発生機構と防止策など、レーザ溶接の基礎についてまず解説し、さらに、レーザ接合法を高度に利用するため、レーザ異材接合法などへの応用展開について紹介する。			
391	12/15 (火)	光ネットワークに適用される SDN技術の動向	株式会社 KDDI 研究所 光トランスポートネットワークグループ 吉兼 昇 氏
(内容)近年、仮想化環境においてネットワーク資源の設定をソフトウェアにより集中制御する Software-Defined Networking (SDN) の研究開発が進められている。SDN を導入することで、ネットワークの詳細な構成を意識せずに任意のトラフィックを柔軟に制御できることから、ネットワークサービス提供時間の短縮化やネットワーク運用コストの削減、また、アプリケーションとネットワークを連携させた新規サービスの創出等が期待されている。本稿では、トランスポートネットワークの中でも光ネットワークに適用される SDN を中心に、技術の概要、研究開発動向および標準化動向について紹介する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3 番出口）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階
時 間：午後 3 時 30 分～5 時 30 分
定 員：60 名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500 円（1 回につき・消費税込）
一般参加：3,000 円（1 回につき・消費税込）
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 潮田（うしおだ）
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp